

第 3 章

ダイオキシン類の測定結果

第3章 ダイオキシン類の測定結果

第1 河川（水質及び底質）

1 測定の概要

(1) 測定期間

令和4年4月～令和5年1月

(2) 測定地点

水質 18河川、33地点（図3-1）

底質 17河川、27地点（図3-2）

(3) 測定回数

| | | |
|----|--------------|------|
| 水質 | 春・夏・秋・冬期の年4回 | 11地点 |
| | 秋・冬期の年2回 | 6地点 |
| | 秋期のみ年1回 | 16地点 |

| | | |
|----|---------|------|
| 底質 | 秋期のみ年1回 | 27地点 |
|----|---------|------|

(4) 測定項目及び測定方法

表3-1のとおり

(5) 測定機関

- ・埼玉県
- ・国土交通省
- ・さいたま市
- ・川越市
- ・川口市
- ・越谷市
- ・所沢市
- ・独立行政法人水資源機構

上記の機関名称は、調査実施時（令和4年度）におけるものである。

2 調査結果の概要（資料3-1）

(1) 河川水質

河川水質の調査結果（年間平均値）は、0.045～2.1[pg-TEQ/L]の範囲であり、8地点（4河川）で環境基準（年間平均値1[pg-TEQ/L]以下）を超過した。

(2) 河川底質

河川底質の調査結果は、0.099～230[pg-TEQ/g]の範囲であり、1地点（1河川）で環境基準（150[pg-TEQ/g]以下）を超過した。

図 3-1 ダイオキシン類常時監視地点図

(公 共 用 水 域)

河川水質

令和 4 年度調査地点：赤塗り部分

| 測定機関 | | 地点数 |
|------|-------|-----|
| ◇ | 国土交通省 | 8 |
| ○ | 埼玉県 | 8 |
| △ | さいたま市 | 5 |
| * | 川越市 | 3 |
| ▽ | 川口市 | 1 |
| □ | 所沢市 | 2 |
| ☆ | 越谷市 | 4 |
| + | 水資源機構 | 2 |
| 合 計 | | 33 |

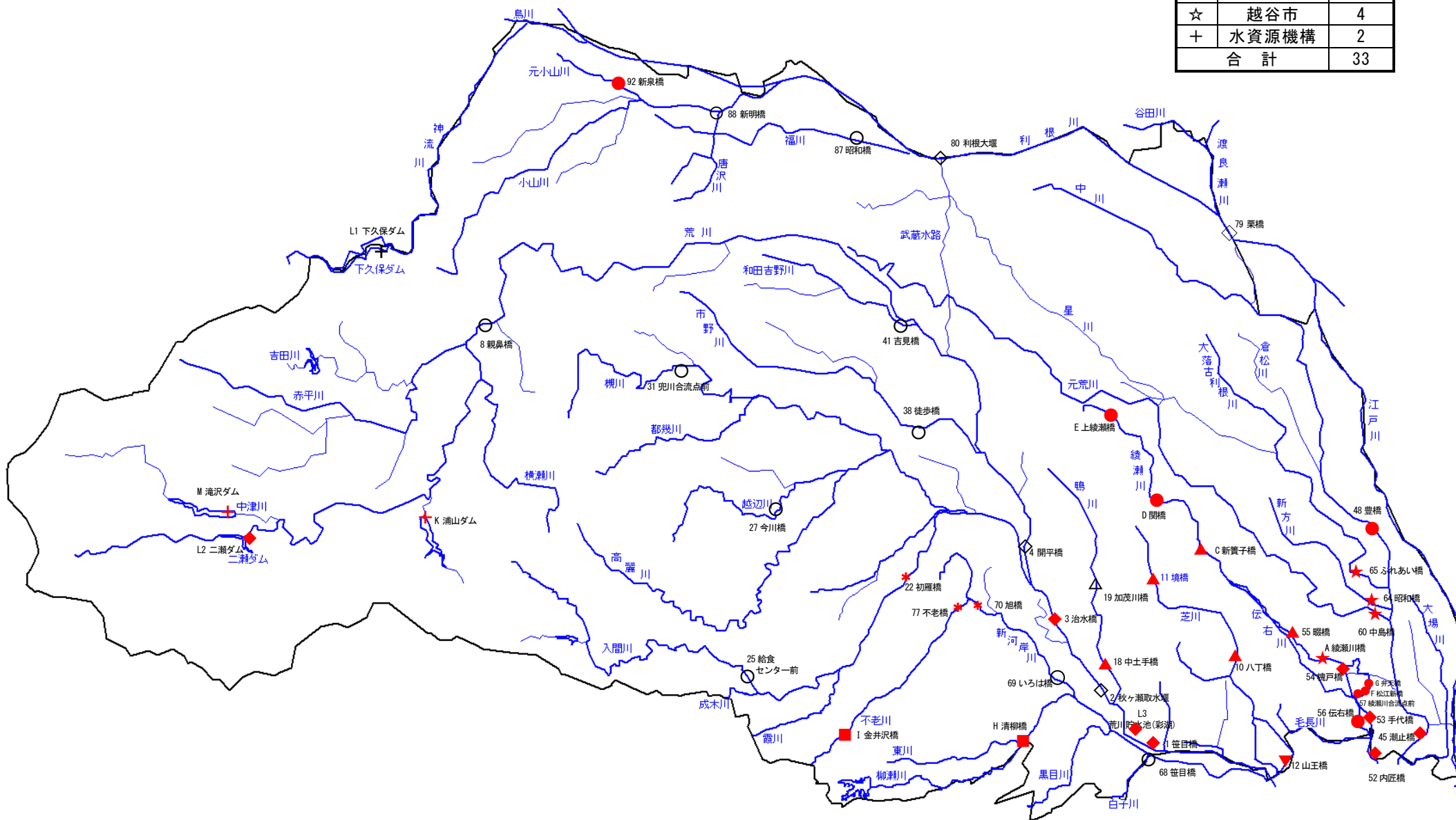


図 3-2 ダイオキシン類常時監視地点図
 (公共用水域)
 河川底質

令和 4 年度調査地点：赤塗り部分

| 測定機関 | 地点数 | |
|------|-------|----|
| ◇ | 国土交通省 | 5 |
| ○ | 埼玉県 | 5 |
| △ | さいたま市 | 5 |
| * | 川越市 | 3 |
| ▽ | 川口市 | 1 |
| □ | 所沢市 | 2 |
| ☆ | 越谷市 | 4 |
| + | 水資源機構 | 2 |
| 合計 | | 27 |

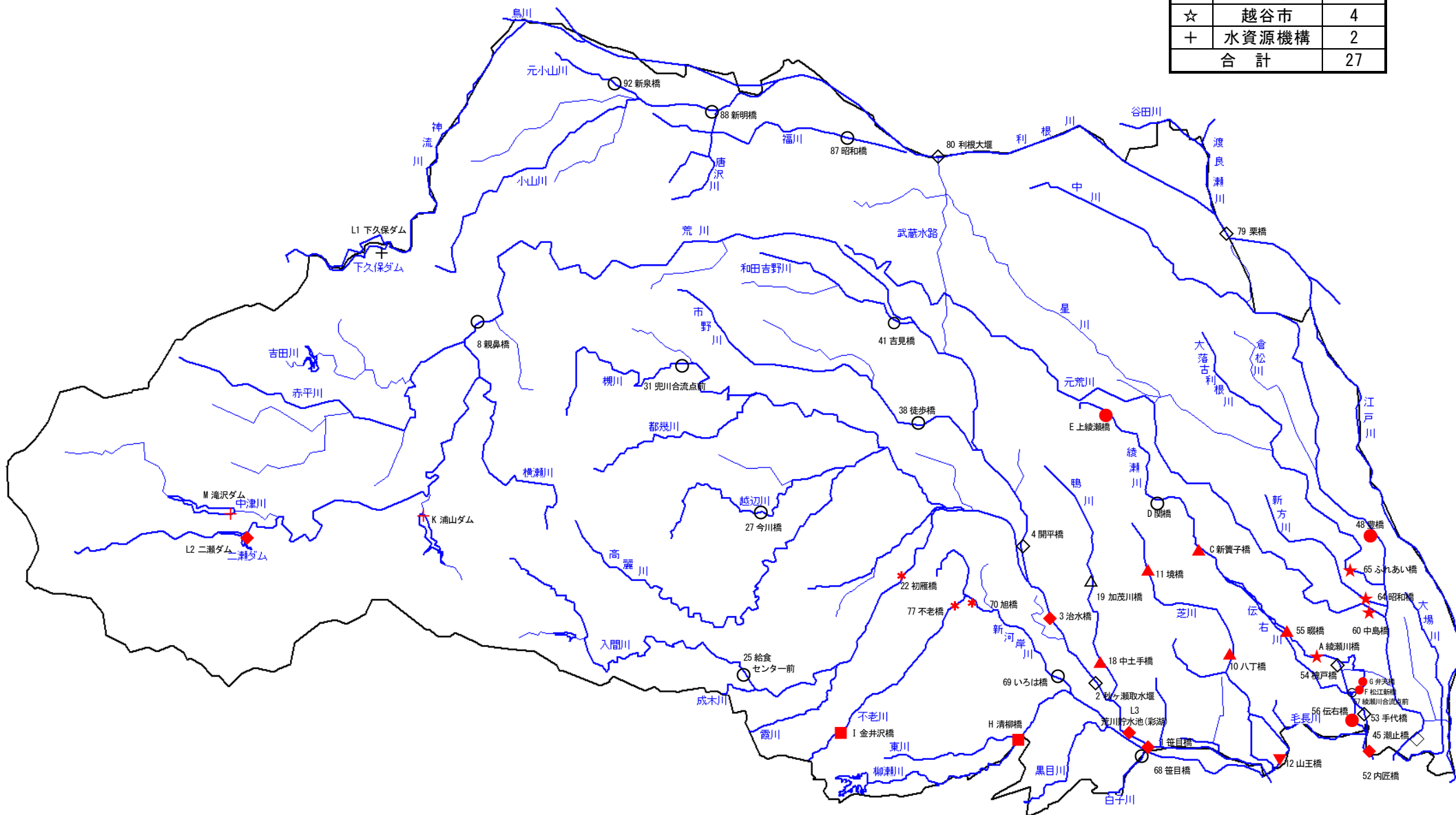


表3-1 測定項目及び測定方法

(1) 水質

| 測定項目 | | 記号 | 測定方法 |
|---------|-----------|-----|--|
| ダイオキシン類 | | | JIS K0312 |
| 観測項目 | 天候(前日・当日) | | |
| | 採取位置 | | |
| | 採取水深 | | |
| | 気温 | | JIS K0102(以下「規格」) 7.1 |
| | 水温 | | 規格 7.2 |
| | 色相 | | |
| | 濁り | | |
| | 臭気 | | 規格 10.1 |
| | 透視度 | | 規格 9 |
| | 河川流量 | | 水質調査方法(昭和46年9月30日 環水管第30号) |
| その他の項目 | 水素イオン濃度 | p H | 規格 12.1 |
| | 浮遊物質 | S S | 水質汚濁に係る環境基準について 付表9 (昭和46年12月28日 環境庁告示第59号) |
| | 導電率 | E C | 規格 13 |

(2) 底質

| 測定項目 | | 記号 | 測定方法 |
|----------|-----------|----|---|
| ダイオキシン類 | | | ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル (平成21年3月 環境省水・大気環境局水環境課) |
| 観測項目 | 天候(前日・当日) | | |
| | 色相 | | |
| | 臭気 | | 規格 10.1 |
| | 採取位置 | | |
| | 状態 | | 堆積物、砂、泥などの別 |
| 物理・化学的項目 | 水素イオン濃度 | pH | 底質調査方法 II-4.4 |
| | 含水比 | | 底質調査方法 II-4.1 |
| | 強熱減量 | | 底質調査方法 II-4.2 |
| | 粒度組成 | | JIS A1204 |
| | 全有機炭素 | | 底質調査方法 II-4.10 |
| | 硫化物 | | 底質調査方法 II-4.6 |

注)

- 1 JIS K0312とは「日本産業規格K0312(2020年)」をいう。
- 2 JIS K0102とは「日本産業規格K0102(2019年)」をいう。
- 3 JIS A1204とは「日本産業規格A1204(2009年)」をいう。
- 4 底質調査方法とは「底質調査方法(平成24年8月8日 環水大水発120725002号)」をいう。

第2 地下水

監視の概要

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項の規定に基づき、地下水の常時監視を実施した。

1 調査期間

令和4年5月～令和4年11月

2 調査機関

埼玉県、さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市

3 調査地点数

12地点（12市町）

4 調査結果

結果は0.024～0.086 pg-TEQ/Lの範囲であり、全地点でダイオキシン類の環境基準（1 pg-TEQ/L以下）を達成した。

第3 土壌 監視の概要

ダイオキシン類対策特別措置法第26条第1項の規定に基づき、土壌の常時監視を実施した。

1 調査期間

令和4年8月～令和5年1月

2 調査の種類及び調査地点数

一般環境把握調査（市実施） 27地点（11市）

3 調査結果

結果は 0.0～21pg-TEQ/g の範囲であり、全調査地点で環境基準（1000pg-TEQ/g 以下）を達成した。